

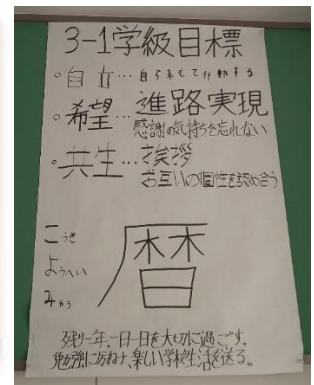
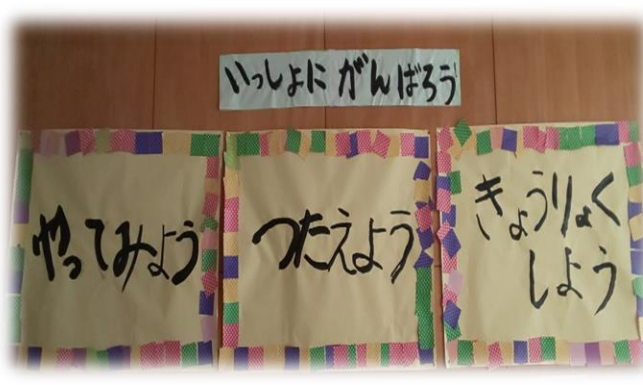
動かない掲示と動く掲示



暑かった毎日が過ぎ去り、さわやかな、そして過ごしやすい季節になってきました。

校長室の窓の外にあった簡易式のプールも、お掃除を済ませ倉庫に片付けられました。

学校は、来月の「ゆめここ祭」に向けての準備や学習が本格的に行われています。放課後、子どもたちがいなくなった教室を回ってみました。教室や廊下には、子どもたちの学習の足跡がたくさん掲示されていました。そして、掲示には「動かない掲示」と「動く掲示」があることに気づきました。



教室にある「学級目標」や「時間割」は「動かない掲示」です。4月に作ったものがずっと掲示されています。朝登校して、学級の目標を意識したり時間割を確認したりすることで、学校生活への期待感を高めるためにはとても大切な存在です。



教室の外にある掲示板や廊下にある「絵や習字などの作品」や「調べ学習のまとめ」は、「動く掲示」です。単元や題材など学習の内容に応じて掲示物が変わっていきます。子どもたち一人一人の成果物には、教員のコメントや実態に応じては花丸が添えられています。コメントや花丸は、子どもたちの意欲をさらに引き出すだすきかけづくりの役割を果たしています。

「動かない掲示」も「動く掲示」も学習環境を整える大切なツールです。「のぼす」「ひろげる」「つなぐ」教育の充実に向け、意識した「掲示」を心がけていきたいと思ひます。

令和元年9月

～児童生徒一人ひとりの夢の実現をめざして～



福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子